



# 校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成30年4月27日

第31号

## 2、3年生の力を結集！ ～ 新入生歓迎会 ～

4月もすでに最終週となりました。今年度は、45期生398名を迎え、在籍生徒数1,191名でスタート。4月11日(水)には熱烈な新入生歓迎会(以下「新歓」)が実施されました。

本校の新歓は、実行委員を中心に約半年をかけて準備を進め、練りに練られた内容だけに、実に見応えがあり、感動的です。新入生の入場を前に体育館の照明を全て消灯。その静寂の中、新入生が入場するやいなやパッと新入生に照明が当てられます。最初は緊張や気恥ずかしさのある新入生も、2、3年生の盛大な拍手の中を進むにつれ、晴れやかな笑顔に変わっていきます。オープニングは、ダンス部。昨年の「日本高校ダンス部選手権」(「DANCESTADIUM」)夏の公式全国大会(「夏高ダンス」)で「ストリートダンス協会賞」を受賞した「水兵さん」を披露。続いて各部、生徒会、委員会などの紹介。完成度の高い映像や趣向を凝らした演出など、どの紹介、発表にも工夫があり、上級生たちの熱い思いが伝わってきます。司会の2人の奮闘も、新歓を大いに盛り上げます。書道部のパフォーマンスでは、

「夢は描くことができればそれは実現できる」というウォルト・ディズニーの言葉とともに「市高で明日を見つけ になりたい自分になる 可能性は無限大」という言葉が新入生に贈られました。最後を飾るのは、全国大会、関東大会常連のバトン部、ダンス部。さすがに見事な演技です。締括りは恒例の、全校生徒による「市高最高！」の唱和。新入生にとっては初めての「市高最高！」です。最高の高校生活を！



上：ダンス部の演技  
下：書道部のパフォーマンス(完成！)

## ◆◆ 受け継がれる伝統 ～ 熱い思いをつなげる～

市高ならではの熱い思いが込められた今年の新歓も、45期生の心をしっかりとらえたことと思います。生徒たちの生き生きした笑顔を見ていると、こんなふうには伝統が受け継がれ、市高生は市高をどんどん好きになり、卒業してからも市高を愛し続けてくれるのだということを実感します。

今年の新歓は、これまでと異なり、午前中3時間の時間枠での実施。昼休みを挟んで午後の授業があるため、時間どおりに終えなくてはならないことはかなりのプレッシャーだったと思います。実行委員が綿密な計画を練り、準備に準備を重ねて前日のリハーサルを迎えましたが、リハーサルでは時間通りに進まず、実行委員も出演者も強い覚悟を持って当日に臨んだことと思います。その甲斐あって、当日は時間ぴったりに終えることができました。内容も充実していて素晴らしいものでしたが、市高生の心意気も実に見事なイベントでした。実行委員会をはじめ生徒の皆さん、先生方、素晴らしい新入生歓迎会をありがとうございます。心から感謝しています。



## 新入生歓迎会実行委員長にインタビュー

時間的な制約がある中、on timeで見事にやり切った新歓。翌日、実行委員長の久代紀歩さん(3年)に新歓にかけた思いや苦勞、工夫などについて話を聞きました。

### ★準備の開始時期

文化祭が終わってすぐにとりかかりましたが、本格的に始めたのは11月からです。1次企画書の提出が10月のはじめ、2次企画書を経て、10月の終わりには各団体の進行表が作成されていました。

### ★最も大きな課題と解決のための工夫

今年は、これまでで最も短い午前中3時間での実施で、さらに6月開催となった体育祭の結団式も組み入れることになっていたため、新歓の内容を充実させるとともに時間内で必ず終了するということが最も大きな課題でした。そのため、これまで1団体3分だった持ち時間を2分にしてもらったり、進行が遅れた時の時間調整を視野に入れ、舞台の「転換」を途中で2回設けたりしました。

### ★前日のリハーサルから本番に向けての工夫

前日のリハーサルが時間どおりにいかなかったため、前日のうちに出演団体が使用する大きな道具や楽器などをできるだけステージに近い場所に運んでおきました。リハーサル時間内に終わらなかった団体も、時間内に終わられるよう練習や工夫をして当日に臨んでくれました。当日は、途中、多少進行が遅れる場面もありましたが、司会の二人や体育祭実行員が巻き返してくれました。体育館の照明、音響に詳しい前年度文化祭の後夜祭委員長や放送委員会のP班も進行を助けてくれました。

### ★委員長を務めた経緯

すでに新歓実行委員会に入っていた友だちに誘われ、1年生の途中から実行委員になりました(当時は年度途中からも可)。今回の実行委員は全員で18名、そのうち1年生の時から関わっていたのが自分を含め4名しかいなかったため、思い切ってやってみようと思いました。

### ★委員会をリードするための工夫

無駄に集まることのないよう効率のよい運営を目指しました。委員長からは伝えるべきことは伝えましたが、できるだけ各担当に任せました。全体を見て気づいたところを伝えてくれる副委員長の存在も大きく、各担当もそれぞれがよく考え、準備を進めてくれました。皆が協力的でとても感謝しています。

### ★自身が新入生だったときの歓迎会の印象

「高校生ってすごいな！」と思いました。先輩たちの盛り上げ方や照明、動画、とにかく発表の一つひとつが中学校とは全く違い、とても感動しました。

今年の新歓も、新入生に大いに感動を与えたことと思います。インタビューを通して、実行委員の苦勞や努力、工夫等について具体的に知ることができました。実行委員の皆さんありがとうございます。また、何かに向かって力を合わせてやり遂げる市高生の力強さを感じました。それは、市高生の強みでもあり、社会につながる力でもあります。これからもぜひ大切にしてください。

## 「市ケ尾ユースプロジェクト」参加生徒大募集！ ～ 新たな自分に挑戦 ～

一昨日、全校生徒に「市ケ尾ユースプロジェクト 2018」参加生徒募集のチラシを配付するとともに、昨年度の活動内容を紹介する冊子（活動報告書）を各クラスに配付しました。活動報告書には、プロジェクトの目的、意義、活動の記録、成果に加え、青葉区長をはじめ研究者や関係者からのメッセージ等も収められています。写真や図表が豊富に掲載され、活動の様子がよくわかります。ぜひ読んでみてください。応募締切は5月8日（火）。あなたも地域で学んでみませんか。

### ◆◆ 市ケ尾ユースプロジェクト（まちの未来づくりプログラム）の概要紹介

ここでは、市ケ尾ユースプロジェクトの活動について、簡単に紹介します（昨年度のまとめについては、「校長室の窓から」（第30号）に掲載。本校ホームページをぜひご覧ください）。

このプロジェクトは、青葉区役所、NPO 法人まちと学校のみらい、市ケ尾中学校及び本校の四者協働の事業で、一昨年度から計画を進め、昨年6月の募集を経て夏に発足。地域の経験豊かな大人の方々（23名）をサポートとして、市中生（17名）、市高生（10名）が5つのチームに分かれて市ケ尾のまちの課題解決や魅力アップに取り組みました。昨年度の主な活動は、多世代交流「中高生が教えるシニア向けスマートフォン講習会」、幅広い世代に市ケ尾のまちをアピールする「スタンプラリー」、青葉区のマスコット「なしかちゃん」と市ケ尾ユースプロジェクトを広く知ってもらうための「なしかちゃんグッズ」作製、「なしかちゃん」と市ケ尾のまちを紹介する動画制作、地元食材「わさび菜」を使った「さんどいっちがお」の開発と青葉区民まつりでの販売（商栄会青年部との連携）、地場農産物直売所マップやおおばマルシェ（地元のとれたて野菜や加工品を販売）の紹介チラシ作成等です。今年度は、さらに新たな企画や区政への政策提言等も考えています。

また、昨年12月9日（土）に愛媛県で開催された地域教育実践交流集会（文部科学省委託事業）で本校生徒2名が発表し、その結びの言葉が、文部科学省発行の「地域学校協働活動パンフレット」に掲載されています。そのほか、2月20日（火）には成果発表会を行い、3月10日（土）には「おおばセカンドキャリア取組報告会」で取組状況を報告。本校では、この活動を本校独自の「特別教育活動」の一つ（地域課題解決型キャリア教育）として位置づけ、生徒の学びの機会を広げています。また、この取組は、都市部進学校の取組として全国的に注目され始めています。

## 本校オリジナルの「市高手帳」を活用しよう！

例年より早い4月19日（木）に全学年ともに遠足を実施したので、クラスの親睦も一気に深まったことと思います。1年生の皆さんも高校生活にだいぶ慣れ、すでに先輩とともに部活動に励んでいる姿を多く見かけます。勉強と部活動との両立には、高い意識と実行力、それを支える時間管理がとても大切。今年度は、生徒手帳に代えて生徒手帳の内容を備えた「市高手帳」を全学年で導入しました。

市高手帳導入の主な目的は、時間管理（時間管理能力の育成）、日々の学習の見える化（学習時間の確保と定着）、1日の振り返り（明日への見通し、日々の充実）、1年間の活動の記録（大学入試の多面的な評価にも対応）の4つですが、勿論その先には「進路実現」があります。そのため、年間行事予定一覧表、月間スケジュール、週間スケジュールの他に、本校での3年間を見通した「学びの行程表」

（進路実現への36歩）や「目標設定と振り返り」、面談シート、テスト・講演会・行事の記録、達成記録、1年間の学習の振り返りのページなど、様々な工夫があります。生徒手帳の機能も兼ね備えているので、学則や諸届欄等も収められています。表紙は極めてシンプル。自分オリジナルの表紙を楽しんでください。

新たな行動も3～4週間続ければ「習慣」になると言われています。まずは1か月を目標に、根気よく続けてみてください。社会につながる大切な力を身に付けることができます。



表紙はシンプル。自分らしい表紙に！

## ■ 第56回神奈川県高等学校総合体育大会総合開会式

4月21日（土）10時30分から、大和スポーツセンターで第56回神奈川県高等学校総合体育大会兼平成30年度全国高等学校体育大会（インターハイ）神奈川県予選会の総合開会式が行われ、185校、488名の生徒が行進に参加しました。県立体育センターの陸上競技場が改修工事のため、昨年度から屋内のスポーツ施設での実施。参加人数の制約（今年度は各校3名以内）がありますが、本校からは生徒会役員3名が明るい笑顔で行進しました。

いよいよ神奈川の高校生が力を競い合う高校総体の開幕です！市高各部の皆さん、日ごろの鍛錬の成果を存分に発揮してください。



参加生徒募集のチラシ。締切は5月8日（火）。各クラスの担任まで。



地元の食材「わさび菜」を使った「さんどいっちがお」。レシピは、中高生が考案。区民まつりでは用意し200個を3時間で完売。

## 合唱部 定期演奏会

春休み中の4月3日（火）、青葉公会堂リハーサル室で合唱部の第4回定期演奏会が開催されました。部員数は決して多くありませんが、チャレンジ精神を大切に様々な挑戦を続けています。



アニメ「ルパン三世」の主題歌では真っ赤なジャケットを着用。OB・OG、顧問、吹奏楽部とともに「はつらつとした歌声を披露」。

## ★43期ダンス部引退公演「Glory」

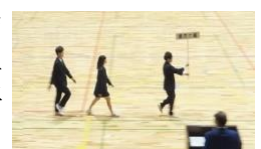
4月29日（日）青葉公会堂  
開場 18:15 開演 18:30

## ★KANAGAWA BANDSHIP 決勝

5月5日（土）県庁特設ステージ  
軽音楽部（RUBBISH）3年女子バンド

## ★吹奏楽部第39回定期演奏会

5月6日（日）青葉公会堂  
開場 17:30 開演 18:00



生徒会役員3名が参加。